

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	アスク東大宮保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	栗原 由美子	定員(利用人数)：	90 名
所在地：	〒 337-0051 埼玉県さいたま市見沼区東大宮2-23-3	TEL	048-661-5218

③総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>○周辺の地域資源を活かした保育活動への取り組みが行われており、子どもたちの思い出に残る楽しい活動となっている</p> <p>園周辺には、大きな公園や畑、私立小学校などの施設があり、それらの施設の活用や連携関係を活かしての保育活動の充実を行っている。小学校への訪問や生徒との交流を通して、就学に向けた心構えと意識付けにつなげ、高齢者施設への訪問では利用者手づくりのおもちゃをもらったり、月1回の交流を行い、紙相撲での対戦で優勝カップをいただいたりして、子どもたちの思い出に残る保育に活かしている。また、近所の魚屋との買い物を通じた交流や歯医者とのハロウインの訪問など、地域の様々な資源を活かした取り組みが子どもたちの楽しいにつながっている。</p> <p>○中期計画が策定され、項目毎の目標設定が明確であり、足りない視点も認識しており今後の対応に期待が持てる</p> <p>年度毎の中期計画を項目ごとに明確に設定し、半期ごとに評価・見直しを行い、次期の計画実施に活かしている。目標の設定も具体的であり、職員が積極的に取り組もうという意欲につながる指標となっていることが窺え、今後の活動展開にも期待が持てる。また、中期計画の内容に関して、保育園の運営に関する視点が不足していることの認識があり、今後の計画策定・実施につながる意識が見られる。</p> <p>○園長・主任が連携して、リーダーシップが活かされ、園運営が円滑に行われている</p> <p>開設後8年目となり、職員間の連携が十分とれ、相互の情報の共有も良好である。職員調査の結果でも全職員を通して、組織の運営管理・福祉サービスの両項目に高い評点を示し、職員の意識の高さが伺える。職員23人中前年度の職員の退職者は1名のみで、園長からの声かけや小さい問題でも全員で共有し、気付き、助け合って、保育園の問題解決にあたり、研修にも積極的に参加している。これが利用者調査結果の保護者の信頼度、満足度の高さにも表れている。</p>

特にコメントを要する点

○遊具の収納の方法や見せ方などを工夫し、遊び方のさらなる広がりにつながる検討も期待したい
 保育室内での集団保育活動以外に室内で自由に遊ぶことができる玩具、遊具が十分整えられている
 かが把握しにくい。園庭に恵まれ近隣に公園等もあり、外遊びの機会が多いこと、専門講師による
 英語・リトミック・体操等の活動のためと思われるが、子どもが自主的に自由に取り出して遊ぶこ
 とができる年齢に合わせた玩具を用意して、コーナー遊びのできる場を整備することで、遊びが継
 続し、遊びこむことができ、遊びを通しての子どもたちの成長がより豊かになると考えられる。年
 長組クラスの子どもの目線に合わせ、玩具や教材が使いやすく揃えられた収納棚の方法を各クラス
 に普及させることを参考にして、良質な玩具の充実も望みたい。

○地域の子育て家庭支援のさらなる充実に向けて、専門性を活かした取り組みを検討し、子育て支
 援拠点として活動展開を進められたい
 子育て支援センターの利用者を中心に、子育てサロンを年5回開催し、参加者から好評を得てい
 る。離乳食や感染症に備える対応などの保護者支援、リース作りなどの父親を中心とした活動（パ
 パ会）を行いパパ友につながる取り組みとなっている。園では地域の子育て家庭に向けた支援活動
 をさらに充実させていきたいと模索している。保育士だけでなく、看護師や栄養士・調理師などの
 専門性を活かした内容をさらに検討し、保護者が参加したいと思わせるテーマを設定して、口コミ
 やさらなるPRを行い、参加者の促進を図られたい。また、隣接して建設中の保育園との連携も視
 野に入れて、地域の子育て支援拠点としての活動展開を進められたい。

○子どもたちの安全・安心に向け、さらなるセキュリティの向上対応を期待したい
 利用者調査では、セキュリティへの懸念があがっており、防犯対策の一環としてカメラの映像確認
 が園内からできるように改善するなどの対応を検討されたい。また、隣接地に新しい保育園が開園
 することを受けてより多くの人々が裏門周辺に集まることを考えると、園庭に通じる裏門のセキュリ
 ティ向上を検討し、防犯対策への対応をさらに進めることも期待したい。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受けて、職員一同で努力を重ねてきたことを良い結果として評価して頂けたことを嬉
 しく思います。これまで注力してきた食農活動が、畑がなくなったことにより規模は小さくなりま
 すが、今後新たな栽培スペースを設置し、楽しい食農・食育活動につなげられるよう進めていき
 たいと考えています。
 今後も、職員・保護者・地域との連携体制を継続しつつ、保育の更なる向上を目指して努力して
 いきます。

⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙